

第2回 グループワーク意見一覧

グループワークで貼り出した付箋の意見をまとめたものです。

会議名：区立施設マネジメント計画に基づくワークショップ
～浜田山駅周辺の老朽化した区立施設への対応等に関する検討（第2回）～

開催日時：令和6年5月24日（金）午後6時～午後9時

場所：浜田山会館 ホール

出席者：区民23名、区職員22名

第2回（5月24日）グループワーク①・②（区からの説明で気になった点等の解消タイム）結果

班	参加者が付箋に書いた意見	意見交換中に追加した付箋
	高井戸東保育園	
1班	どんな支援を行っているのか？	中核園の役割は何か。保育の質をどうやって保っているのか。
1班	0歳児の一人当たりの面積はなぜ広いのか。	
1班		民営保育園の問題はあるのか。
1班		区立保育園は子どもが集まるが、私立保育園も集まるのか。区立保育園の定員を私立保育園に移して、同じ規模で建設することはできないのか。
1班		私立保育園を後退させないために、区立保育園の定員を減らせばいいのではないのか。
1班		高井戸東保育園は今後も区が運営するのか。
1班		高井戸東保育園は古いため、子ども、保護者、職員が気持ちよく過ごせるように建て替えてほしい。
1班		区が建て替えるとデザインが良くない。
2班	保育園数を維持する理由は？民間への委託は？	
2班		コストパフォーマンスを考えると民間委託しない理由を知りたい。
2班		中核園・障害児園に特化して民間が運営しても良い。サービスと考えると面積を確保する。
3班		仮設はもったいない。
3班		少子化対策が必要。
3班		拡充し、保育園のみとする。
3班		先進的私立園もある。
3班		旧保育室にケア24を持っていく。
3班		旧保育室浜田山東は駅から遠い。
3班		定員増、障害児対応。
3班	「少子」、逆に「増やすべき」であるが、結果的に少なく出ている。理想通りとなると増加する。	
3班		旧保育室をコミふら分室的にも活用する。
3班		保育園とゆうゆう館の取り合いか。
3班	保育園改築（建替え）が必要な理由は理解できた。	

班	参加者が付箋に書いた意見	意見交換中に追加した付箋
4班	障害児指定園と障害児施設の違いはなにか	
4班	障害児指定園の稼働率は？	
4班	病児保育について拡充	サービスを充実させて、子育てしやすい環境の整備が必要
4班	人口動態から見た施設数のあり方。若い世代を増やす？	区外からもっと若い世代を呼び込みたい
4班	小さな子どもが親以外の他者に初めて接する場が保育園。保育園は一人の人間が成長するスタートとなる非常に大切な場と考えてほしい。	保育園は質の向上も必要
4班	障害児を受け入れる保育園は増設してもいいのでは？	
4班	高齢者のニーズと保育は分けるべきでは？	
4班	高井戸東保育園の園児数は？仮設での受け入れは？	
4班	仮設園舎への移転時に障害児は？	
4班		ゆうゆう館と保育園で、時間ごとのニーズを捉えて使い分けることはできないか？
5班	工事期間は？	2～3年の中で一時的に活動場所が移る。完成したら元の場所に戻る。それが利用者として大丈夫か。
5班	私立保育園の保育の質の維持向上に区立保育園はどう連携していくのか？	どういう風に連携しているのかわからない。区立保育園の職員は公務員なのか？
5班	仮設園舎だけで入園～卒園になる子どもが出るのか？	仮設園舎で過ごすと思い出に残る部分が薄れる。
ゆうゆう高井戸東館		
1班	地下室の利用はできないのか。	地下を活用した場合、面積等の制限はあるのか。地下であれば防音室を作れるのではないかな。
1班	高井戸東保育園を改築する間のゆうゆう高井戸東館の行き場は？	
1班	ゆうゆう館を夜遅くまで開いているのはなぜ？	高齢者の夜間利用は低い。高齢者以外はゆうゆう館を利用することができることを知らない。
1班	現在、ゆうゆう館を使っている人はどのようにゆうゆう館を知ったのか。次世代が使う可能性はあるのか。	
1班		ゆうゆう館の洋室が音楽室のように使用することができれば、稼働率が上がると思う。
1班		小さいゆうゆう館であれば、その場で建て替えることができるのか。
2班	部屋面積ではなく、使いやすいレイアウト（可変）を先に検討すべきではないか。	改築の場合、面積の視点だけでなく、機能性・使いやすさを考える必要があるのでは。
2班	ケア24とふらっと浜田山？ゆうゆう館？つながっているにこしたことはない。	
3班		ゆうゆう館の一般活用を考える。
3班		ゆうゆう館の移転先はあるのか。
3班		老人向けサービスの低下。
3班	改築時、ゆうゆう高井戸東館の利用者の活動場所は。見学した施設以外に当てにできる施設はあるのか。	
3班		ゆうゆう館夜間利用の活用。
3班	みどり豊かな環境のため、インフラの整備が必要。	
3班	ゆうゆう館の夜間利用の低さが課題だと思った。	
3班	ゆうゆう館は浜田山会館に移す。	

班	参加者が付箋に書いた意見	意見交換中に追加した付箋
3班	ゆうゆう館、高齢者人口の増加とニーズの多様化への対応。	
3班	夜間枠、主婦配偶者の無理解、夕食準備	
3班		高齢者、若年者混在しても良い。
3班	環境は流動的。多様なニーズに対応可能な受け皿としての機能が必要。	
4班	ターゲットとしている高齢者はいるのか？	ゆうゆう館の利用者の具体的なイメージが分かりにくい。
4班		世代間の考え方の相違（変化）を、どう考えればいいのか？
5班	以前、高井戸地域区民センター改修工事の際、広場にプレハブの建物を設備したので、今回も同様にしたらどうか？	ゆうゆう高井戸東館の工事期間中の代替場所としてはどうか。
5班	ゆうゆう館とコミュニティふらっとの違いは？	
5班	ゆうゆう館の利用者アンケート16.5%（回答率33%）、登録者数9,330人、高齢者人口12万人、日中稼働率高い。	ゆうゆう館のニーズは偏っているのではないかと近いから今のゆうゆう館を利用しているだけで、多少場所が変わってもある程度融通がきくのではないかと。
5班		どういう定義で作られたのか。
浜田山会館・コミュニティふらっと		
1班	60歳以上の方のコミュニティふらっとの使用率が低いのはなぜか。	
1班	世代を超えての交流・繋がりを作るとするのは理想に過ぎないのではないかと。	
1班	ゆうゆう浜田山会館からコミュニティふらっと成田に移行した団体が少ないのはなぜか？	アットホーム感がなくなったのか、場所が変わったからなのか。
1班	コミュニティふらっとでいかにゆうゆう館的なアットホームな雰囲気を作れるかが鍵ではないかと。	コミュニティふらっとでの受付の対応は人によって異なる。
1班	コミュニティふらっとでの世代間交流は難しい？	もっと世代間の交流をすべきである。図書館が併設されているコミュニティふらっとは子どもが来ていて良い。
1班	浜田山会館の増築はできないのか。	制約はあれども可能
1班	コミュニティふらっとはゆうゆう館の代替？それともゆうゆう館の新規？	コミュニティふらっとでゆうゆう館の機能を継承する必要はないのではないかと。
1班	高齢者にとって、コミュニティふらっとは不評ということですか？	
1班		無理に世代間交流をするのは難しいのではないかと。子どもの姿が見られるだけで良い。
2班	コミュニティふらっと高齢者アンケートの結果を見ると、案外満足度が低い点が驚き。	
2班	コミュニティふらっとアンケート満足度は目標値と比較してどうか。	
2班		優先枠を超えた分も無料にすれば使いやすくなるのでは。
2班		地域に根差したソフトが必要。テレワークスペース等。
2班	何が問題（課題）になるのか。施設間で差異はないのか。場所エリアの特性。	
2班		ハコではなくソフトを考えるべき。
3班		高齢者向けホール利用が喜ばれるのでは。
3班	コミュニティふらっとは箱（ハード）だけでなく、内容（ソフト）のアイデアがあると利用度が上がると思う。	
3班	浜田山会館・ふらっと、利用（稼働）率が上がりそうな点は良いと思う。	

班	参加者が付箋に書いた意見	意見交換中に追加した付箋
4班	浜田山会館の扱い方を再考する必要があるかと思う。	
4班	事業を見直すべき（不要では？）	
4班	コミュニティふらつとはなぞ。対象はどういう人か。	
4班	コミュニティふらつとで多世代交流が実際に可能なのか。	目的が明確ではない。ターゲットが広すぎる。
4班		利用者目線と目的の明確化が必要ではないか。
5班		まだうまく機能していない。
5班		コミュニティふらつとのイメージが湧かない。ある程度引き続き利用できることはわかったが、児童館の繋がりがなくなる気がする。箱として置いていかれる気がする。
5班		コミュニティふらつとは集会室とゆうゆう館が統合したものなのか。児童館も入っているのか。
5班		コミュニティふらつとを作る前に思い描いていた形になっているのか？
5班		コミュニティふらつとには賛成ではない。浜田山会館を残すのも良いと思う。
5班		コミュニティふらつとに反対するのは場所なのか、時期なのか、機能なのか？
ケア24浜田山		
1班	一部売って、残った部分にゆうゆう館とケア24を建ててはどうか？	
1班		慣れ親しんだ場所（ゆうゆう館）にケア24がある方が相談しやすいのではないかと？ケア24の利用者とゆうゆう館の利用者は異なるが、一緒にある方が良いと思う。
1班		徒歩圏内にケア24があったら良い
1班		介護離職問題にもケア24が役立つからこそ、認知度の向上を図るべきだ。
1班		ケア24を保育園の一部に移転するという案が出たとき、反対された理由は何か。
1班		ケア24から出向くこともある。
1班		ケア24はアットホームな雰囲気にするべき。
1班		ケア24では本人からの相談が一番多い。
1班		ケア24が実施しているイベントが認知されていない。
2班	ケア24は場所が大切（周知のため）。	
3班	ケア24浜田山は、フラット活動を連携しても？	
3班	ケア24代替物件が見つかるように。	
3班	ケア24の相談はオンラインでできればロケーションは自由度が増すと思う。	
3班	初期相談はチャットボットの応答も有りだと思います。	
3班	ケア24浜田山、移転先で旧保育室は該当しないのか。	
4班	法律に基づき設置は必須だが、20か所も必要なのか。合理化・機能化に応じて、広さも考える。スマホ教室の実施は必要なのか。	
4班	他の事務所で合同で実施することはできないのか？	

班	参加者が付箋に書いた意見	意見交換中に追加した付箋
4班	柏の宮公園の管理事務所で実施できないのか？	
4班	本当に必要となる支援とは？	
4班	公設民営はあまり関係ないのではないか。	対面以外のサービスもあるため、数はどこまで必要なのか。
4班	ケア24の業務内容をもっと知らせる方法や対策が必要	
4班		見守りについての役割の定義は？
4班	ケア24の機能の周知	
4班		利用者にとってケア24が行きやすい場所にするべきだ。施設の機能の明確化を。
4班		ソフト面、ハード面の見直しが必要
5班	ケア24の24の意味は？	ケア24をもっとPRした方が良いのではないか。
5班	ケア24の重要性はわかるが、区立のコミュニティ施設の中にある必要性は？	戸建ての広い家で条件を満たせるのではないかと。大きなスペースが必要ではないので、民間の施設を借りれば良いのではないかと。
旧保育室浜田山東		
1班	路地状敷地とはなにか？	
1班		旧保育室浜田山東は売っても良いのではないかと？
1班		どうして路地状敷地の形状なのか？避難経路の確保のためか？
2班	旧保育園の土地を売却してゆうゆう館や新保育園の改築費用に充てて欲しい。	
3班	旧保育室浜田山東、「仮設」後はゆうゆう館としての活用は考えられないのか。この場合、浜田山会館からケア24が出なくても良い。	
3班	保育室はバッファ機能を担当の役割とする。	
3班	旧保育室は仮設用地として利用するのが良い。その後が課題。	
3班	旧保育室を仮設、スクラップ&ビルドの土地にするのはもったいない？	
3班	保育室は将来的にケア24、コミュニティふらっとの分室とする。	
3班	1023.92㎡あれば、999㎡で設定しても良いのでは？	
3班	仮設保育所ではなく、本設の保育園にする。	
4班	使用するか売るかしないと、もったいないのではないかと。	
5班	現在使われていないのであれば、早く活用してはどうか。	
5班	旧保育室浜田山東に1,000㎡未満で作れば良いのではないかと。	
5班	旧保育室浜田山東に建設可能な建物は？	
5班		旧保育室浜田山東にゆうゆう館機能や子どもの機能がある施設を作ってもいいのではないかと。
その他		
1班	高齢者の利用施設のうち、その他区立施設とは何を指すのか。	
1班		コミュニティふらっとの利用が3.1%なのはなぜか？

班	参加者が付箋に書いた意見	意見交換中に追加した付箋
1班		コミュニティふらっとやゆうゆう館等で実施しているヨガのグループは後からだと人気過ぎて入れない。
1班		浜田山会館をコミュニティふらっとにするには、ホールがあったり、ゆうゆう館の機能継承等で難しいのではないかな？
1班		浜田山駅周辺の土地は高い。
2班	前回と今日の見学を終えて、老朽化の現実を知った気がします。	
2班		建て替えの場合、ゆうゆう館を1階にするなど工夫が必要。
2班	画一的なプランニングだけではなく、それぞれの街（浜田山）の個性を活かしたプランニングを望む。	
2班		エリアに合った、個性を出した施設整備を行い、魅力のあるまちづくりを。
2班		街のイメージに合った建物が必要。高級なイメージ、雰囲気、工夫。
2班	コミふらの講座等は浜田山の地域性にマッチしているのか？	
2班	住む人と建物のイメージが合わない。	
2班	私立園の保育の質。この質はサービス拡大なのか、園自体の単独の質なのか。	
2班	コミュニティふらっとと利用者の声、年代で分けてほしい。	
2班		改築の手法等を検討するべき。予算比較。
2班		落ち着く雰囲気ではない。
2班		建物を長く使う考え方があっても良いのでは。
2班		施設を利用する理由として、なごみの場より目的が必要では。
3班	高齢者の就労に関して、①雇い止め制度悪影響あり②ゴミ収集時刻固定	
3班		ニーズ・好みによって意見が変わる。
5班	仮の施設の建て替えにはどのくらい期間がかかるのか？ゆうゆう館利用者からのクレームがあったところはそこと同じなのか？	
5班	建て替えはすでに決まっているのか？建て替えの内容の検討なのか？	
5班	雨の日、真夏日に子どもが過ごせる場所を充実させてほしい。	
5班	「コミュニティふらっと」「ケア24」の周知PRをもっとするべき。	

第2回（5月24日）グループワーク③（施設整備において大事にしたいこと・大切にしたい視点の意見交換）結果

班	参加者がワークシートに書いた意見		意見交換中に追加した付箋
	施設整備において大事にしたいこと 大切にしたい視点	理由	
1班	今整備したから、今の人に使ってほしいのではなく、次世代利用も視野に入れた工夫が必要。	改築するのであれば、徐々に廃れていくものはもったいない。どうすれば何十年も使い続けることができるのか、施設の持続可能性が大切だと思った。	・ライフステージの変化、社会の変化にも対応できる施設にしたい。 ・施設を利用したことがある人、ない人の声も取り入れたいだろうか。 ・ゆうゆう館などの施設を知らないまま過ごす人が多いと、施設の運営ができなくなってしまう。
1班	緑、自然がほしい。	・ストレス緩和 ・防災機能 ・都市景観の保全	
1班	施設利用者の意見を聞くこと	時間がかかっても、施設利用者の意見を反映することがうまくいくことだと思う。	今回のワークショップのように、意見を聞いてもらうことができてよかった。また、若い人の意見を聞いて、気づきが得られた。
1班	子どもが喜ぶ、夢のある保育園を作してほしい	子どもも、保護者も、先生たちも楽しくなれると思う。	また来たいと思う施設にするのが重要だと思う。
1班	安全な建物にしてほしい 地震・火災に強く、万が一の時に避難の通路を複数確保していること	当たり前のことだが、重要なことであるため。	
1班	膨大なコストがかからないこと	財源は無限にあるわけではないため。	
1班	ゆうゆう館の機能をコミュニティふらつとに移転することは難しいと思う。	ゆうゆう館利用者は70代～80代が一番多く、これから団塊世代が80代になることで利用者は増加することが想定されるため、ゆうゆう館はもっと増やすべきである。	コミュニティふらつとに移行すると、全体のスペースが小さくなり、活動に制約が生じるため。
1班	ケア24浜田山の移転には反対	下高井戸4・5丁目の高齢者にとって、ケア24浜田山がさらに遠い場所に移転してしまうと、利用しづらくなってしまったため。	
1班	浜田山会館にケア24浜田山を残してほしい。	ケア24は大事な施設であり、他に移す場所がない。	ケア24浜田山が「浜田山会館にある」と説明しやすい、わかりやすい。 民生委員はケア24を頼っている。
1班	どの施設においても、また来たいと思えるようなアットホームな施設になってほしい。 部屋も無料で貸してやっているといったような雰囲気ではなく、みんなが楽しいあたたかいコミュニティを作っているという意識を共有したい。	これからますます孤立や孤独が問題になっていくことが想定されるため、どんな人でも周りに大切にされているという意識を持てることで、社会の安心安全に繋がっていくと思う。ひいては、健康寿命を延ばすことで医療費の増加を抑えることに繋がり、介護にかかるコストを減らせると思う。	・ここに行けば自分はコミュニティに属していると実感することができる施設。 ・みんなが住みやすい社会が良い。 ・アットホームな施設、誰しもがまた来たいと思える施設に運営側も利用者側も雰囲気づくりをする。
2班	入口（アプローチ）や雰囲気から、誰もが入りやすいような施設づくりが重要	・コミュニティふらつとは外観が無機質に思える ・コミュニティふらつと阿佐谷のラウンジは広いが、居心地が良いとは言えない。	
2班	高井戸東保育園は交通の便が良いところに	子どもを預けて、働きに出やすくなるため	
2班	高齢者が利用する施設は段差を最小限にする	高齢者のみならず、障害者にも優しい施設になるため。	
2班	ケア24は良く目につくエリアに設置する。	高齢者が利用するための準備として	
2班	浜田山の地域性にあったデザインの施設。実施設計に参加可能なシステムを作してほしい。	粗悪な建築物は不必要。	
2班	区民などがデザイン案にアンケートで投票できる機会を作してほしい。コンセプト案などは立体的にほしい。	建物が出来上がった後の区民とのずれをなくす、もしくは少なくするため。そのためには、CAD等で立体的なイメージを事前に周知する。	旧保育室にケア24を持っていく。
2班	浜田山会館の改修により、コミュニティふらつとのような集客室に変えていくのは良い。	ホールは浜田山になくても良い。音響等の備品が中途半端。	旧保育室浜田山東は駅から遠い。
2班	テーマカラーを決めて、外観を含めたファニチャーに統一感を持たせる。浜田山らしさを演出する。	地元企業の協力も得る。	
2班	浜田山らしさ、くつろげる、緑	マネタイズではないが、せつかく作るのであれば区が潤う施設を作してほしい。浜田山のイメージをまとめて、それに寄り添ったコンセプトをまとめる。	
2班	浜田山会館にコミュニティふらつとは不必要	会館としての機能が必要不可欠であるため。	旧保育室をコミふら分室的にも活用する。
2班	面積の問題があるのであれば、保育園は特化した機能で良いのではないか。		
3班	利用しやすいこと	・立地、規模 ・バリアフリー ・運用（申し込みの方法、利用料、利用時間など）	
3班	防災の観点も重要		
3班	・仮設期間終了時点では、従来よりもメリットが大きくなることを前提としたい ・シニアのIT利用を前提にしても良いと思う ・地震対策で乗り切れる部分	・お得感がないと不満がでるため、利便性向上が必要。 ・IT利用は国として進めたい事項であるため、施設窓口で利用者に対して指導することができるようにする。	
3班	・財政規律への配慮 ・サービスの質とコストの効果の検証	区として膨大な借金を抱えている現在、設備を充実させることの資金が将来世代の過大な負担とならないよう十分配慮し、場合によってはサービスの質を落とすことも選択肢として必要である。	

班	参加者がワークシートに書いた意見		意見交換中に追加した付箋
	施設整備において大事にしたいこと 大切にしたい視点	理由	
3班	争点を明確化し、必要に応じて区民の賛否を確かめること	参加者の意見は一部であるため、この意見が区民を代表するものではないため、一つのアイディアとして利用すべきである。区民の総意とすることは無理がある。	
3班	フリーWi-Fi、電源の充実が必要	若い方にとってはインフラ（生活必需）であるため、また、オンラインと集合の割合が半々なセミナー開催などにも必要な条件。	
3班	利用者の満足度が下がらないように、制度設定してほしい。世代間交流がスムーズにいくようにしてほしい。	満足度が下がると、利用しなくなり、無駄になるため。高齢者に限らず、孤独感を訴えている人が多い。	
3班	現在の住民だけを考えるのではなく、浜田山に住みたい、杉並区に引っ越して来たいと思えるような施設にしたい。	区の説明を聞くと、このままでは高齢化が進んでしまうのではないかと危機感を感じた。	
4班	保育園の整備は最優先で実施すること	小さい子供が親以外の専門職に出会う最初の場が保育園であり、保育士である。未来を担う大切な子どもたちを守るためにも、そして、その子どもたちの親が困ることのないように願いたい。	ケア24浜田山は柏の宮公園クラブハウス、ゆうゆう高井戸東館はケア24の場所に転移していいのではないかな。
4班	コミュニティふらっとの必要性等を再度見直してほしい。	コミュニティふらっとの現状を見て、世代交流ができていないのか疑問であるため。	
4班	ケア24の必要性を行政から広報してほしい。	自分が利用する、しないではなく、高齢になり困ったときに相談できる場であることを知っておく必要がある。	
4班	お金と時間も含めたプランを示して決定すること	次回には、投資計画や収支なども含めて話してほしい	複数プランで、コスト比較する必要がある。
4班	施設を作ってからどう使うか考えるのではなく、利用目的を明確にしてそれに適した施設を作る。ターゲットとコンセプトをしっかりと練ってほしい。	誰もが使いやすい施設を作ると、誰も使わない（使いにくい）施設になると思う。使ってもらいたい人を想定して作ると、マッチする人は確実に利用し、それにより他の人たちもついてくると思う。	
4班	方針変更しやすい構造や設計にするべき	将来の変化に対応しやすいように。	
4班	コミュニティふらっととゆうゆう館はターゲットングを明確にしてほしい。	高齢者全員を対象としてないと思うが、計画が明確ではないため。	独居高齢者をターゲットにするのか、拡充して幅広くサービスを提供するのか。
4班	旧保育室浜田山東の活用方法		保育相談、病児保育を実施してはどうか。事情のある子のための施設にはどうか。
4班	保育園は将来的に若い世代が杉並区に住みたくなるような視点で検討してほしい。	若い世代を増やすべきであるため。	未来を見据えた施設整備、サービスの構築
4班	浜田山会館のホール・会議室機能の維持、拡張	現状、団体利用をしているため。	
4班	子育て家庭を考えた施設	子育てしやすい街づくりが必要であるため。	
4班	ニーズをしっかりとリサーチする	用意するサービス、機能、システムがしっかりと届き機能すれば、現況を大きく変えても良いと思う。	将来の需要予測が重要
5班	区民の居場所になってほしい		
5班	誰もが自由に使用できること	最小のルールを守れば、みんなが気持ちよく利用できることが公共の施設として必要。	子ども～高齢者までが気持ちよく利用することができるようなルールを利用者が決める。申し込みをしなくても利用できると良い。
5班	新しい施設を建築する際は、以前児童館でされていたような地域の繋がりを持てるような施設であってほしい	以前児童館で餅つきや昔遊びなど、子どもたちと地域を繋ぐイベントがあった。それが非常に良い取組だったと思う。	
5班	老化による建て替えは必要なのはわかるが、そのためには周囲の協力も必要であるため、関わる方々の意見などを十分に聞いて、本質的な問題点などを見つけ、より良い方向で進めてほしい。	地域の言葉を聞くことで見てくるものがあり、世代間でぶつかるのではなく、それぞれの立場を分かり合う過程があってこそ理解し、良い形で発展的な建て替えになると思う。	相談ができる、行けばフォローしてくれる、繋いでくれることができる施設が良い。
5班	ソフト、コンテンツ、アクティビティをステーキホルダーみんなで考えていくこと	無関心層にも使ってもらおうこと。施設は利用されてこそ意味がある。地域コミュニティを促進するには、一部のヘビーユーザーだけでなく、中身が大切である。	
5班	身近なところに施設をできる限り多く設ける。町内の親睦を図れると良い。	下町で見かけた「掲示板」の、町内のおくやみ情報が参考になった。以前のような葬儀を営むことがなくなったので、近所の方が亡くなって知らないままのことが多くなった。	
5班	新しい施設を建築する際は、中途半端にならないようしっかりとした物を建ててほしい。	長期的に使用できるような、みんなが今回のワークショップのように大変な議論をしないで済むように、将来的にもプラスになっていけると良い。	
5班	働く世代や子育て世代が長く住み続けたい魅力的な施設	こういう施設があるからこの地域に住みたい、住み続けたいと思うことができれば、若い世代が増えて地域の活力に繋がる。デザインやIT、インフラも含めて、中途半端な施設は良くない。	
5班	働く世代が使える施設	税金を多く払っているのだから、できれば使いたい。在宅ワークが難しい時に、ワーキングスペースなどで個人利用できると良い。	
5班	子どもから大人まで、足が向くような外観も内観も素敵な施設	ソフト面の充実。機能移転した場合、こうした利点があるとといった具体的な内容があると良い。	